

二〇二〇年度 前期日程入学試験

群馬県立女子大学 文学部 総合教養学科 小論文

試験時間は、一〇〇分です。中途退室は認めません。

途中で気分が悪くなった場合は、黙って手を上げて下さい。

問題用紙はこの表紙を含めた一四頁（最後の白紙部分は下書き用）、解答用紙は二枚です。さらに、下書き用の紙（白紙）を一枚配ります。それぞれが配られたら、指示に従って、解答用紙の各々の所定欄に受験番号と氏名を記入して下さい。試験開始の合図があるまで問題用紙の表紙をめくって問題を見てはいけません。

解答用紙の所定の箇所に受験番号と氏名を記入し終えたら、静かに試験の開始を待って下さい。

問

題

つぎの文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問一 「情報」について、傍線部(A)「意味の純度を高める」とはど「うい「う」ことですか。本文に即して説明しなさい(三〇〇字以内)。

問二 傍線部(B)「この世界が情報を燃料に走っている」とを、今のわたしたちは知っている「とはど「うい「う」ことですか。本文に即して説明した上で、例を挙げて論じなさい(七〇〇字以内)。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

ジェイムズ・グリック『インフォメーション 情報技術の人類史』（楡井浩一訳、新潮社、二〇一三）

【出題者注】

原本中、あきらかな脱字と思われる箇所は、出題者の判断により修正した。

下書用

